



砂子澤富美子議員

質問①

医療ケアが必要な

子供の就学について

医療的ケア児のための看護師配置事業が全国で推奨されていますが、様似町の現状について伺います。

日常的に医療処置を必要とする児童の事を医療ケア児と規定されており、保育所・学校の設置者は医療ケア児に適切な支援を行う事とされています。当町においてもこれまでに派遣等の実績があり、医療体制がなかった事で就学出来なかったというケースはこれまでにありません。

今後、看護師配置事業制度を取り入れる考えはありますか。

対象の児童のケースによって常時ケアが必要となる場合は常勤の看護師確保が必要

と考えます。医療的ケア体制がないために地元で就学できないという事はないようにしたいと考えております。

質問②

町内の外国人について

外国人に対して町として何か行っていますか。

特になく、今後の予定も今のところはありませぬ。

隣町では日本人との交流会やイベント等、外国人も日本人と一緒に楽しんで相談したり出来る様な取り組みを行っています。様子でも行えないでしょうか。

現在はないがALTさんが英会話教室やイベントを毎年されているので、もっとPRし広げていければと思います。

外国人の困りごとの把握、また今後その予定はありますか。

現在把握はなく、今後も予定はしていませんが、就労先の雇主を通じて個別対応を考えています。

例えば転入時に母国語で交通・ゴミ分別等の生活ルールや税金や年金、保険制度等を文書で説明を行ったり、セミナー等を開催している町もありますが、様子でも取り入れてはどうでしょうか。

行政としてどこまで出来るかですが、出来る事からやっていきたいと思えます。

文化の違いで日本人が困っている事の把握や対策の考えはありますか。

母国で日本について一定程度のマナーや教育を習得されていると思われ、ゴミ分別について町民から相談を受け雇主さんから伝えて頂く対応をしましたが、他は特に把握していません。

雇主さんにとつても町の紹介はありがたいのでは？文化の違いの説明は必須。双方が気持ちよく過ごせる様に町としても対策が必要。人生の大半を様似で過ごす外国人もおられ、様子に比べて良かったと思える様に配慮してほしい。

将来、様子で結婚し学校教育面でのサポート等を望む声もあり、色々研究検討しながら対応を進めていきたいと思えます。

質問③

小学校のプール

解放について

利用時に監視員を配置しはどうでしょうか。中学生以上は監視がなく非常に危険です。

監視及び施設管理として1名配置しています。小学生以下は保護者同伴で、友人等も許容範囲で見守り、中学生以上の利用者は特に危険性は高いと思いません。

大人が絶対に安全という事はなく、また練習中等に特に泳げる子の誰にも気付かれない事故が全国で起こっています。今一度確認し、危険を理解してほしいです。

事例も確認しながら注意喚起をしていきたいと思えます。

一定のルールを定めては？コースロープに乗ったり

ジャンプしたり危険が多いです。指導はしていますし聞き取りをする限りでは危険な行動はないが、改めて指導し引き続き注意を払ってほしいと思えます。

コースが生かされず泳ぐことを目的に使用が出来ない状態ですが泳ぎたい利用者もいるのでは？今の状態であればコースロープは撤去したほうが安全です。

様子小学校のプールは水深が浅く水泳には不向き。子供の練習や遊びが主目的ではあるが、幅広い世代の心身の健康維持増進の為、柔軟に対応していきたいと思えます。

小学校のプールは皆さんに愛されています。だからこそ安全安全に未永く使用出来るように、安全管理を検討して頂きたいです。

危険については改めて学校からも指導します。現人数では何人も監視が必要という考えはありませんが利用状況を見ながら検討していきたいと思えます。



明賀孝子議員

質問①

救急体制推進について

第九次様子町総合計画において重篤患者をドクターヘリ等での搬送を目指すとなつていますが現状はどうですか。

ドクターヘリにつきましては道北、道南、道東、道央の四つのエリアに分けて運行されています。日高東部消防組合管内では平成17年より運行されており、様子町の救急患者は一旦浦河赤十字病院に収容し、医師が診察及び検査を実施後必要に応じてヘリで搬送します。浦河潮見野球場から札幌手稲溪仁会病院へ1時間程で到着します。

過去5年間で10件の要請がありました。医師の判断や天候不良等もあり、実質7件

の搬送となりました。内訳は交通事故2件、脳疾患が5件です。なおドクターヘリの運行時間は朝8時半から日没までとされており、気象状況濃霧、降雪時には運行できない場合もあります。

令和4年度に購入された高規格救急車の活用状況を教えてください。

今年の3月20日より運用開始し、最新式の自動体外式除細動器や高品質で胸骨圧迫を行う心臓マッサージ機などを装備しており、今年の4月から11月末までは174件で167名の傷病者を搬送しておりそのうち自動式心臓マッサージ機は2回活用し、救命救急士による薬剤投与などの特定行為は18件実



高規格救急車内

質問②

鵜苫共同墓地

道路舗装について

敷しています。救急隊員が現場での確な対応ができるよう一層知識と技術の習得を図っていきます。

墓地内道路舗装が途中でまどとなつていますが、今後の舗装計画はありますか。

町が管理しているのは現在舗装している箇所までです。よって今のところ舗装計画はありません。

10月の豪雨で舗装されたいない道に窪みができ、轍も目立っていますか危険ではないでしょうか。

墓地西側通路部分において、大雨により水が走り、窪みが出来ている所におきましては、墓地内を管理している自治会とも協議しながら、必要に応じた措置を講じたいと思えます。



窪みと輪達が目立つ墓地内道

町で砂利等を購入することはできませんので、自治会からのニーズに応じて対応していきたいと思えます。

質問③

様子町における

パートナーシップ制度導入について

現在この制度を導入してはいますか。またその予定はありますか。

様子町では現在この制度を導入していません。日本国内では同性婚が認められておらず男女平等参画、SDGs等偏見のない社会を目指す中で全国では361自治体、道内においては8市が導入施行しています。様子町におきましては今後そういったニーズや気運が

高まった場合には本制度のメリット、デメリットを見極めながら検討していきたいと考えています。

この制度を活用する事によって、町内人口の増加、公営住宅の活用、男女平等参画（SDGs）等様子町としての特色の一つとなりうると思えますが、いかかでしょうか。

法的効力を持たないパートナーシップ制度ですが、公営住宅などで家族として同居が認められる、病院での面会が許される、住宅ローンが適用されることがあります。

さらに保険金の受取が可能になる場合や携帯電話会社の家族割サービスがうけられることなどメリットも多くあります。

町民の皆さんには広報等を通じて情報発信をし、ニーズの把握に努めていきたいです。現在広報では、2か月に1回、男女共同参画企画を行っています。